※令和３年度以前入学生用

学校番号	317

令和５年度　福祉科

教科	福祉	科目	介護福祉基礎	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	介護福祉基礎（実教出版）						
副教材等	使用しない						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

○これから地域社会で生活されている人々の「　ふだんの　くらしの　しあわせ　」について、みなさんと一緒に考えていきます。

・卒業後、福祉・介護・看護系に進みたい人にとって、必要とする基礎的な社会福祉に関する知識や技術を学ぶとともに「　福祉の心　」を育みます。

・週１回の授業を活用して、福祉施設の現場を想定した実技実習を取り入れます。

・社会で起こっている福祉に関する諸問題について、高齢者福祉・児童福祉など多岐にわたる分野を新聞記事・テレビニュース・Ｗｅｂなどから興味・関心の幅を広げます。

２　学習の到達目標

介護に関する基礎的な知識を習得し、介護を必要とする人の尊厳の保持や自立支援など、
介護の意義と役割を理解し、介護を適切に行う能力と態度を身につける。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	高齢者の心身の状況や取り巻く環境に関心をもち、介護に向けた課題に主体的に取り組む。また、高齢者に関する幅広い視野と福祉観や介護従事者としての職業観を育成する。	日常生活から派生する介護に関する諸課題の解決をめざして思考を深め、基礎的な知識と技術を基に、福祉に携わる者として適切に判断する力、コミュニケーション力を身につけている。	介護福祉の担い手として基礎的な技術を身につけ、福祉に関する諸活動、実技に対応することをめざしてその技術を適切に活用している。	現代社会における社会構造の変容や特色を理解し、介護を必要とする人を取り巻く環境について基礎的な知識を身にけるとともに介護の意義と役割を理解している。
評価方法	実習日誌 ワークシートの記述 実技テスト	実習日誌 ワークシートの記述 実技テスト	実習日誌 ワークシートの記述 実技テスト	実習日誌 ワークシートの記述 発表

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
	介護の意義と役割	1. その人らしく・尊厳・基本的人権 2. 高齢者の人格と尊厳 3. 障がいのある人の人格と尊厳 4. 利用者本位の介護サービス 5. 尊厳・プライバシー保護 6. 専門性と基本姿勢 7. 介護従事者として踏まえるべき倫理	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○		a:介護が必要な人とはどのような人か理解している。 b:尊厳とはどのようなことか理解し、介護従事者として必要な倫理観と、尊厳を守るために必要な考え方や態度について理解している。 C:介護サービスのしくみを理解している。	実習日誌 ワークシート 実習振り返りシート
	介護を必要とする人の理解と介護	1. 生活支援 2. 生活を支える介護 3. 介護過程 4. 実技実習	○ ○ ○	○	○ ○		a:高齢者の特徴や活動、認知症などの疾患を理解し、高齢者に対するより良い介護のあり方を学んでいる。 b:基本的な生活支援の方法や技術を学んでいる。 C:利用者が抱えている生活上の問題を解決するために必要な介護過程のプロセスを理解している。	実習日誌 ワークシート 発表
	障がい者の生活と支援	1. 障がいとは ・視覚・聴覚・言語障がい者の生活と支援 ・肢体不自由者・内部障がい・知的障がい・発達障がい者の生活と支援 ・精神保健福祉 ・地域生活移行 ・就労支援 2. 実技実習	○ ○ ○ ○ ○	○ ○	○ ○ ○		a:障がいの範囲と程度を理解し、障がいに対する考え方の変化や障がい者の生活環境を把握する。 b:障がい者の心理や生活上の問題を把握し、問題の解決法を考える。また、コミュニケーションのとり方を理解する。 c:障がい者が地域において、就労に関するどのような支援を受けられるかを学び、就労の実態を理解する。	実習日誌 ワークシート

※令和３年度以前入学生用

	介護を必要とする人の生活環境	1.生活環境を整えること 2.高齢者の生活住まい 3.障がい者と住まい 4.福祉用具の活用 5.自立生活支援 6.生活支援と介護 7.自立を支援する介護専門職 8.自立を支援する生活環境づくり 9.実技実習	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	a:高齢者がより快適に生活する環境をどのように整えるかを学んでいる。 b:バリアフリーやユニバーサルデザインの考え方を通して多くの人が快適に生活をするための方法について考察する。 c:介護を必要とする人が、その人らしい生活を実現するための福祉用具の活用について理解している。また、介護保険制度によって、用具の活用ができるしくみについて理解する。 d:リハビリテーションの意味をとらえ、医療と介護を関連させることで、その人らしい生活を校正していくことの大切さを理解している。また、自立を支援するための生活環境と何かを理解する。そのための具体的な方策について考察する。	実習日誌 ワークシート 発表 実技テスト

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。